

「第8回 史跡及び名勝 飛鳥京跡苑池保存整備・活用検討委員会」及び
「第10回 飛鳥宮跡活用検討委員会」 概要

【報告】

第8回 史跡及び名勝 飛鳥京跡苑池保存整備・活用検討委員会

○苑池内南池の護岸及び中島、流水施設などの遺構展示の方法について審議が行われ、以下の方針が示された。

- ・護岸および中島の遺構は 30cm 程度の保護層をもうけた上、GRC(ガラス繊維補強コンクリート)で復元する。
- ・護岸や中島の石積みが失われた部分は、自然石を用いて想定復元をおこなう。
- ・中島は西側半分を実物展示し、松を復元植樹する。
- ・流水施設(石造物)は GRC で復元する。

第10回 飛鳥宮跡活用検討委員会

○飛鳥宮跡の現状と課題、基本方針、保存の方向性に関する審議が行われた。

1. 主な意見：

飛鳥京跡苑池

- ・ G R C の耐用年数や管理コストを把握する必要がある。
- ・ 遺構の劣化状況を確認するモニタリング坑の位置を再度検討すること。
- ・ 流水施設（石造物）の実物は、可能であれば現地で屋内展示すること。
- ・ 池の水質管理を検討する必要がある。

飛鳥宮跡

- ・ 史跡指定された計画対象範囲およびその周辺の保存と活用の方針について、分かり易い表現にすること。
- ・ 本質的価値について、発掘時の状況など遺構そのものの価値を詳細に記載すること。

2. 日 時：平成 31 年 3 月 25 日(月) 10 時 30 分～16 時 00 分

第一部 10:30～12:30 史跡及び名勝 飛鳥京跡苑池保存整備・活用検討委員会

第二部 14:30～16:00 飛鳥宮跡活用検討委員会

3. 場 所：奈良県橿原考古学研究所 3 F 会議室

4. 出席者：

飛鳥京跡苑池 田辺、佐野、森川、西本の各委員

飛鳥宮跡 田辺、黒田、小林、櫻井、染川、森川、松村、増井、古瀬、
田島の各委員

オブザーバー 国営飛鳥歴史公園事務所

関係者 南部東部振興課、文化資源活用課、明日香村

事務局 公園緑地課、文化財保存課